

地区名	台東区
研究主題	自然に親しみ、科学的に問題を解決できる子供の育成 —子供の素朴概念を生かし、主体的・対話的で深い学びを通して—
<p><b>【研究の内容】</b></p> <p>(1) 主題設定の理由 身の回りの自然現象・事象に目を向けて実際に実験などを通して体験することで、自然に親しむ手助けをすることの大切さについて考えた。そこから得た疑問を解決するための道筋を考えることが小学校理科教育に求められていることであると考えた。</p> <p>(2) 児童の素朴概念を生かした授業 素朴概念とは、児童が生活経験や既習事項から既にもっている、まだ精緻化されていない概念である。それを丁寧に引き出し、実際の現象とのずれに着目することで、児童が実験の意味や学習の流れを理解できるようになると考え、授業設計をした。</p> <p>(2) 深い学びについて 実験や観察を経て、身に付けた知識や技能を活用したり発揮したりすること。また、それらを日常生活や自然現象・事象と関連付けることで、深い学びの実現を目指す。</p> <p>(3) 研究授業（年3回） 年間講師：元帝京短期大学 教授 木下 邦太朗 先生</p> <p>① 6月 6年「植物の成長と水の関わり」 東浅草小学校 南保 拓也 主任教諭 ② 10月 6年「月と太陽」 金曾木小学校 豊田 敏 主任教諭 ③ 12月 3年「植物の育ち方」 東泉小学校 鈴木 元基 主任教諭</p> <p><b>【研修・その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京小学校理科教育研究会の研修会への参加</li> <li>・2月に、一年間の成果と課題について紀要を作成し、区内で研究発表を行う。</li> <li>・研究授業における指導案検討、実験、関連事項の実技研修</li> </ul>	